

漁港機能増進事業の事例紹介

～老朽化した浮棧橋を増殖礁として活用（広島県）～

漁港の機能分担・有効活用を推進するための施設整備事業として、平成29年度から「漁港機能増進事業」が策定されました。この事業で、広島県福山市において、JF シェルナースを利用した取り組みが行われました。

事業の概要

老朽化した浮棧橋に JF シェルナースを取り付け、増殖礁として設置することで、漁場としての機能を有した漁港の機能増進を図ることを目的としています。

浮棧橋上部に取り付けた JF シェルナース



側面に取り付けた貝殻基質

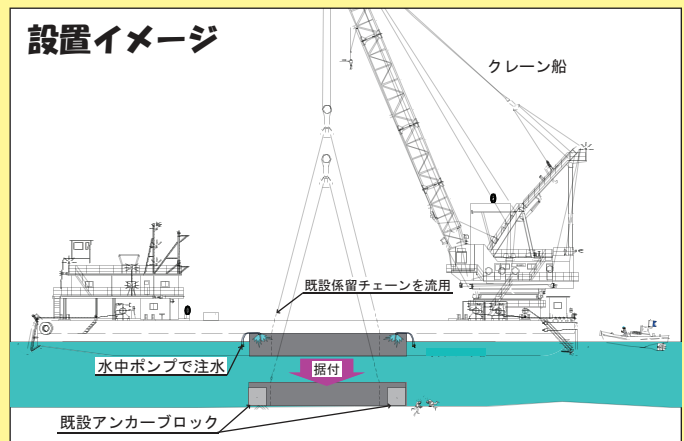
場所

広島県福山市横田漁港

設置の様子（2018年2月）

クレーン船で浮棧橋を吊り上げ、浮棧橋のマンホール穴から注水し、徐々に沈めて海底に着底させました。

設置イメージ



設置海域



設置の様子

設置後の状況（2018年4月）



上面では
ナマコを確認！



内部ではメバル幼魚を確認！

クロメ種苗の取り付けを行いました！



・水質浄化効果
・幼稚魚保護育成効果
が期待できます！